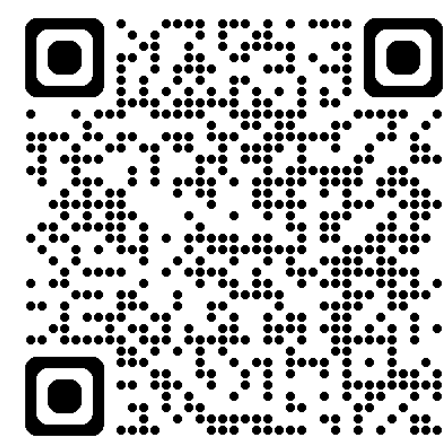
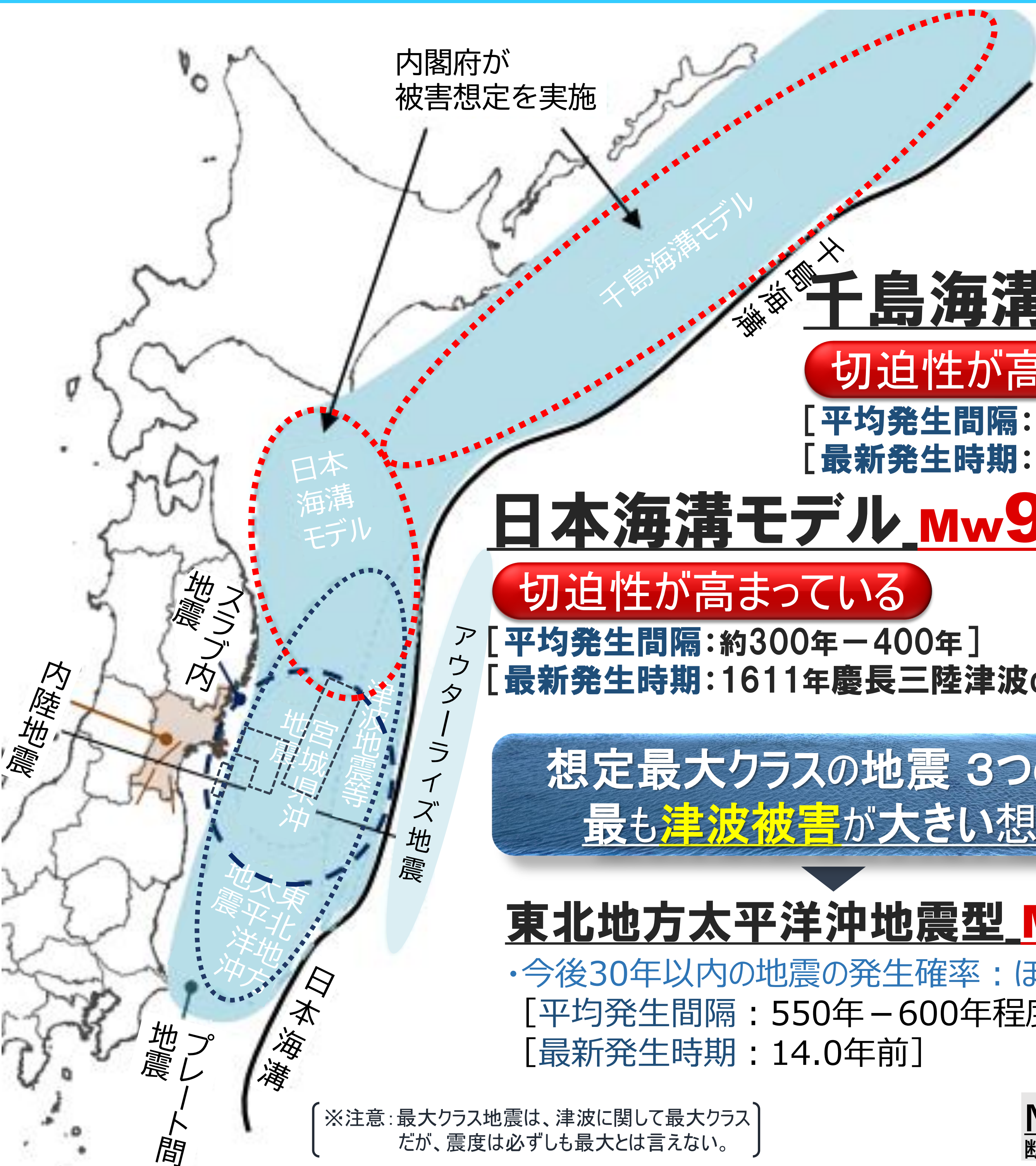


"知っていますか!?" 宮城県に影響する地震・津波リスク



宮城県第五次地震被害想定調査報告書(概要)



千島海溝モデル **Mw9.3**

切迫性が高まっている

[平均発生間隔: 約340年 - 380年]

[最新発生時期: 17世紀] → 380~400年程度経過

日本海溝モデル **Mw9.1**

切迫性が高まっている

[平均発生間隔: 約300年 - 400年]

[最新発生時期: 1611年慶長三陸津波 or 17世紀の津波] → 約400年経過

想定最大クラスの地震 3つのうち
最も**津波被害**が大きい想定

東北地方太平洋沖地震型 **M9.0**

・今後30年以内の地震の発生確率: ほぼ0%

[平均発生間隔: 550年 - 600年程度]

[最新発生時期: 14.0年前]

※注意: 最大クラス地震は、津波に関して最大クラスだが、震度は必ずしも最大とは言えない。

Mw: モーメントマグニチュード
断層運動の大きさを表した指標

「宮城県第五次地震被害想定調査報告書」及び「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による震源断層モデルと震度分布・津波高等に関する報告書」から作成

地震の規模(イメージ)

M: マグニチュード
地震が発するエネルギーの大きさを表した指標

